

藤華医療事務専門学校

2026年度 第1回教育課程編成委員会 報告書

1. 日 時 2026年5月28日（木） 13:30～15:00

2. 場 所 藤華医療事務専門学校 校長室

3. 出席者 鯉越英夫委員、里谷和幸委員

奥田宏学校長、佐田智直事務長、平岩寿子学科長

4. 次 第

(1) 学校長挨拶

(2) 委員挨拶

(3) 2026年度教育課程編成委員会について

- ・教育課程編成委員会規則にある、委員会の目的や所管事項等の確認を行った。
- ・外部委員には、各業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見や実務に関する知識、技術、技能などを踏まえながら積極的な意見交換をお願いした。

(4) 2026年度教育課程について

- ・4つの医療事務分野を学べるように工夫をしている。
- ・昨年度いただいた意見を参考にして、教育課程を次のように変更した。

教養国語 → ビジネススキル ※教養に加えて、思考力や発信力を高めるため。

キャリアデザイン（新設・選択） ※IT活用能力をさらに高めるため。

受付応用 → 受付手話、受付英会話 ※様々な患者様に対応できるようにするため。

- ・医療概論については、前半に医事総論として外部から専門家を招聘して特別講義を実施している。
- ・教育課程とは別に、4限目を適宜設定し、資格検定補習や就職指導の時間を確保している。

(5) 意見交換

- ・AIは、あくまでも道具として使うことが大切。考える力、対話するスキルを育てていてもらいたい。AIが普及しても、患者は人間である。医療機関では、患者様にやさしい人が評価される。
- ・新聞コラムを教材として、表題をつけたり、自分の考えを表現させたりする取り組みはよい。
- ・受付英会話の時間は、話すだけではなく、リスニング力を上げることも工夫してほしい。受付手話の小テストは、授業者の口語がなくてもわかるようにしてほしい。
- ・登録販売者の資格取得を検討してもよいのではないか。
- ・外国人の入学については、一定の日本語能力は必要ではないか。一方、県内には海外実習生が多数勤務しており、病院に行くと、言葉が通じずに困っている。所属する医療法人では、大学と連携して、どうしたらよいか検討を進めている。
- ・医療事務、看護補助者は、数年前まではハローワークに募集をかけると、たくさんの応募があった。他の職種と同様に人手不足。いわゆる汚い仕事ではないし、患者様からありがとうと言われるやりがいがある仕事である。